警報器の動作と機能

1．火災警報について

※ご注意：必ず壁スイッチをONにして使用してください。OFFでは煙を感知しても器具は点灯しません。

■煙を感知すると警報音が鳴り、警報ランプと蛍光ランプが自動点灯してお知らせします。
（壁スイッチが「OFF」の場合は点灯しません。）

警報器	警報音・	ピーピーピー（継続音）
	警報ランプ・	点灯
蛍光ランプ・		点灯

● 火災のとき

火元を確認し、119番へ連絡するなど適切に処置を行い、避難してください。

● 火災でないとき

火災以外でも次のような場合、警報を発することがあります。
・スプレー式殺虫剤やヘアースプレーなどが直接本体に入ったとき。
・タバコの煙や線香などの煙が本体に入ったとき。
・くん煙式の殺虫剤などが本体に入ったとき。
・調理の煙や水蒸気などが本体に入ったとき。
・ほこりが多いとき。
警報停止ボタンを押すと約5分間警報音を止めることができます。
また、換気をすると警報を解除します。

2．自動試験機能について（故障警報）

ご注意：自動試験機能の警報中に煙を感知すると火災警報に切り替わります。

■ ・煙感知部の内部の汚れなどで煙の正常な検知ができなくなった場合は自動的にこれを検知して、警報音と警報ランプでお知らせします。これは警報器の交換の時期を示しています。速やかに交換してください。
（自動試験機能時は蛍光ランプは自動点灯しません。）

警報器	警報音	ピピピッ（約1分おき）
	警報ランプ	約1分おきに3回点滅

• 警報器の交換の目安は10年ですが、環境や喫煙・お手入れなどにより交換時期が短くなることがあります。

3．電池寿命警報機能について（リチウム電池の寿命）

ご注意：電池寿命警報機能の警報中に煙を感知すると火災警報に切り替わります。

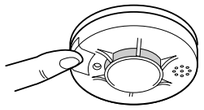
■ ・電池電圧が低下した場合は自動的にこれを検知して、警報音と警報ランプでお知らせします。電池の交換時期は約10年に設定されており、警報器の交換時期と同時期になるように設計されています。速やかに警報器を交換してください。
（電池寿命警報機能時は蛍光ランプは自動点灯しません。）

警報器	警報音	ピッ（約1分おき）
	警報ランプ	約1分おきに1回点滅

• 電池寿命はお客様の使用環境により短くなる場合があります。

4．警報音の停止

■各々の警報音は警報停止ボタンで停止させることができます。



火災警報時	警報停止ボタンを押すと約5分間警報音が停止します。その後自動的に復帰し、煙があれば火災警報を続けます。
故障警報時（自動試験機能）	警報停止ボタンを5秒以上押すと、約24時間故障警報音を停止することができます。警報ランプは10秒おきに3回点滅します。
電池寿命警報時	警報停止ボタンを5秒以上押すと、約24時間電池寿命警報音を停止することができます。警報ランプは10秒おきに1回点滅します。

5．警報器の交換時期

■交換時期は自動試験（故障警報）機能及び電池寿命警報機能による警報でお知らせしますが、これに関係なく10年を経過した場合は交換することをおすすめします。

6．定期点検のしかた（警報機能の確認）

■月に一度、警報停止ボタンを押して警報の確認をしてください。この時、７秒以上押し続けると蛍光ランプが自動点灯して点灯確認ができます。また、3日以上留守にした時は必ず警報機能の点検を行ってください。
自動試験機能（故障警報）・電池寿命警報機能は電池がなくなるまで続きますが、約3日間を目安にしてください。

・警報停止ボタンを押した場合

警報音	点検/処置
ピピッ、ピーピーピー	正常です。
警報を発しない	12ページの「警報器が故障かなと思ったときは」の各項目をご確認ください。
ピピッ、ピピピッ	
ピピッ、ピッ	
ピピッ	

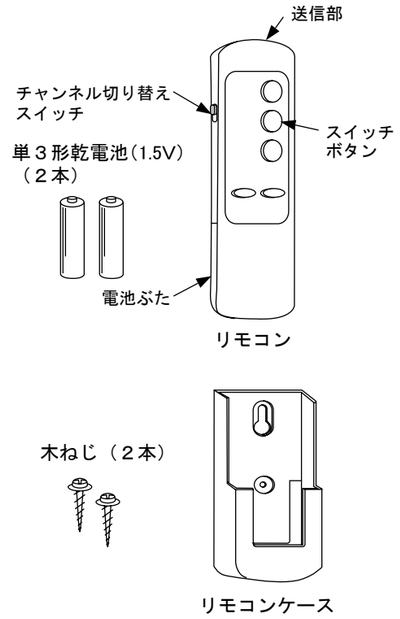
・警報停止ボタンを７秒以上押し続けた場合
（警報音に加えて蛍光ランプが自動点灯します。この時ボタンから手を離すか、一定時間（点灯後から約20秒）を過ぎると、警報機能は自動停止します。）

蛍光ランプ	点検/処置
点灯する	正常です。
点灯しない	壁スイッチが「OFF」になっていませんか？/壁スイッチを「ON」にしてください。 信号用及び本体側中間コネクタが正しく接続されていますか？/接続を確認してください。

⚠警告
・ライターなど火元を近づけない。（故障の原因）
・作業時は安定した足場を確保する。（作業者の転倒・落下の恐れ）

リモコンによる操作方法

各部の名称（リモコン部品）

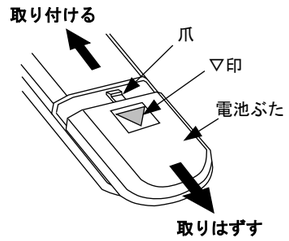


乾電池の入れかた交換のしかた

①リモコン裏面の、電池ぶたの▽印を押しながら電池ぶたをずらして取りはずしてください。

②付属の単３形乾電池を ⊕⊖ の表示に合わせて入れてください。

③リモコンに電池ぶたをかぶせて▽印を押しながらリモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。



＊リモコンの平均電池寿命は、１日10回の使用で約１年間使用可能です。

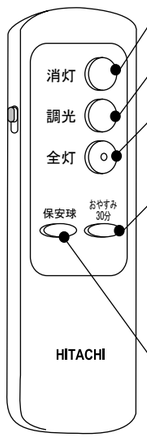
必ず守る
長期間使用しない場合は、乾電池を取りはずしておく。
＊液もれによるリモコンの故障の原因となります。

⚠注意

・種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）また、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
・充電式電池は使用しない。
・使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。
＊乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。

点灯確認

●スイッチボタンを押して点灯確認をしてください。
（スイッチボタンを押してリモコンからの赤外線が本体に入りますと、本体から電子音が鳴り受信をお知らせします。）



消灯・・・蛍光ランプ・常夜灯が消灯します。

※調光・・・蛍光ランプが約65%の明るさで点灯します。

※全灯・・・蛍光ランプが100%の明るさで点灯します。
（※所定の明るさになるまで数秒かかる場合があります。）

おやすみ30分・・・蛍光ランプ・常夜灯が約30分後に消灯します。
●ボタンを押した時点（器具から電子音が鳴ります）から30分後に消灯します。
おやすみ30分設定後、途中でボタンを押すと、押した時点から30分後に消灯します。
設定を解除する場合は、全灯、消灯など他のボタンを押してください。

蛍光ランプ点灯時におやすみ30分ボタンを押すと、30分後に常夜灯に切り替わり、10秒後に消灯します。
＊常夜灯点灯に切り替わってから消灯するまでの間におやすみ30分ボタンを押すと、再び蛍光灯が点灯し、おやすみ30分が設定されます。

保安球・・・常夜灯が点灯します。

このようなことにもご注意を

●リモコンと器具の間にしゃへい物がありますと、器具が動作しない場合がありますので、しゃへい物を避けて操作してください。
●**ランプ点灯直後**、リモコンで切り替えができない場合があります。この場合、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
●温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用は、変形や故障の原因となりますのでおやめください。
●リモコンを落としたり、衝撃をあたえたりしないでください。また、水にぬらしたり、温度が高くなるところに置いたりしないでください。操作不良の原因となります。